



利根中央病院だより

第 80 号
2026
夏

きらめき

kirameki



発行責任者 利根中央病院 病院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL:0278-22-4321(代表) FAX:0278-22-4393
URL:<https://www.tonehoken.or.jp/>

地域に根ざした小児医療を目指して

小児科は常勤医師3人体制で、利根沼田地域の子どもの健康を支える総合病院として、日常の外来診療から入院治療まで幅広く対応しています。また、当院は地域で唯一の分娩施設でもあり、産科医師と連携しながら新生児医療にも取り組んでいます。

私たちは「地域の医療は地域で完結する」ことを目標に、喘息・便秘症などの一般慢性疾患外来に加えて、群馬大学医学部附属病院や群馬県立小児医療センターの医師の協力を得て、多くの専門外来(内分泌・循環器、神経、消化器、腎臓、喘息・アレルギー)を開設しています。遠くの病院まで足を運ばなくても、住み慣れた地域で専門的な医療を受けられる体制を整えています。

子どもの数が減少している今、これからの小児医療は身体の病気を治療するだけではなく、子どものこころの問題や発達への支援、さらにはその背景にある家



小児科科長(医長)

品川 穰

しながわ ゐのる



庭・社会環境にも目を向ける必要があります。私たちは、子ども達を「生物・心理・社会的(バイオサイコソーシャル)」な視点から包括的に捉え、一人ひとりの健やかな成長を支えていくことを大切にしていきます。

子どもたちが安心して成長できるよう、これからも地域に根ざした小児医療を提供してまいります。お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。



小児科外来チーム



5A 病棟 小児科チーム 前列左より看護師長阿部、常勤医師の野中・品川・前原

群馬県北部の 循環器内科診療を支援します



左より常勤医師の野尻・山口・菊島・荒井・箱田・高岡・近藤

2026年度 循環器診療体制の強化について

当院では2025年度、利根沼田地域における循環器診療の充実を目的に「循環器センター」を設立しました。地域では高齢化が進み、高齢者に多い心不全の患者さんが増加しています。そのため都市部に先行し、すでに「心不全パンデミック」の状態になっていると考えています。

心不全の原因はさまざま、生活習慣病（高血圧、糖尿病、肥満など）や慢性腎臓病、大動脈弁狭窄症・僧帽弁閉鎖不全症などの弁膜症、心房細動などの不整脈、狭心症・心筋梗塞などが関係します。

治療は、精密検査で原因を特定し、病状に応じて適切に選択していきます。

また入院中・退院後の療養生活で注意する点を、「心不全教育」としてお伝えしています。さらに、心不全を抱えていても、できるだけ望んだ生活を続けられるよう、症状の改善と再入院予防を目的とした「心臓リハビリテーション」にも積極的に取り組んでいます。

こうした外来診療・検査から、入院治療、精密検査、



循環器センター長（部長）

近藤 誠

こんどう まこと



教育、リハビリまでをより充実させるため、2026年度より循環器専門医および日本心血管インターベンション治療学会専門医である荒井洋医師、後期研修医として高岡凌太医師を仲間に加え、循環器診療体制を強化いたしました。

今後も、利根沼田地域の循環器診療をできるだけ地域で完結できるよう、地域内外の医療機関と連携しながら体制の充実に努めてまいります。



循環器センター 新任医師 紹介

5月より循環器内科医として入職いたしました荒井です。10年ほど前に非常勤として勤務しておりましたが、今回縁あって再び利根中央病院に復帰させて頂くこととなりました。

これまでの経験を活かし、利根沼田地域の患者様へ最善の医療を提供できるよう励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



循環器センター部長

荒井 洋
あらい ひろし



初期研修に引き続き、今年度より内科専攻医として勤務させていただきます。循環器センターの一員として心不全や虚血性心疾患など循環器疾患を中心に、地域の皆様の健康を守るお手伝いが出来ればと思います。よろしくお願いいたします



循環器センター

高岡 凌太
たかおか りょうた



待望の 外科系 診療看護師 紹介

利根中央病院では2022年度に総合診療科に診療看護師を迎え入れ、総合診療や地域医療で活躍していましたが、残念ながら異動・退職されてしまいました。

時を同じく、沼田病院で外科系の特定行為を中心に一人の診療看護師が活躍していました。

私自身、前任地が沼田病院でありその働きぶりを間近で見てきており、外科系にも診療看護師の必要性・重要性を感じていました。しかし新規採用はなかなかかない状況でした。

今回、沼田病院の閉院という突然の出来事が起こり、その混乱のなか優秀な人材を利根沼田から流出させる訳にはいかないと思い、当院へ招き入れることができた。

ました。

外科医の減少が社会問題となる中で、病棟業務や手術補佐など外科系の補助として、また看護師ならではの視点で患者やその家族と接する診療をしていくなど、様々な活躍を期待しております。



外科科長（部長）

小林 克巳
こばやし かつみ



診療看護師（NP）とは、5年以上の実務経験後、2年間看護系大学院で医学的知識や技能の教育を受け、医師と相談しつつ、いままで医師が行っていた一定の範囲の診療行為を特定行為として実施することができる診療と看護両方の能力をあわせもつ看護師です。

沼田は天狗が有名ですが、私自身が天狗にならないよう、「謙虚」に医師や医療スタッフと協働・連携し、より安全でより安心できる治療やケアを提供し、患者

の療養生活の質を高めていけるよう努力していきますのでよろしくお願いいたします。



診療看護師

二神 秀寛
ふたがみ ひでひろ





防火防災訓練を実施しました

6月11日(木)に防火防災訓練を実施しました。病院は消防法により年2回の消火及び避難訓練の実施が義務付けられています。当院では毎年6月と12月に実施しており、今回は地震発生後に6階病棟のコインランドリーでの火災が発生したとの想定で実施しました。自衛消防本部を設置し、各階に自衛消防地区隊を結成して避難誘導を行いました。

避難訓練後は利根沼田広域消防本部の消防隊員の皆さまから消火栓や消火器の使い方をレクチャーしていただき、放水訓練を実施しました。実際にかかる放水圧や放水距離などを学ぶことができました。訓練参加者一同、本番を想定して真剣に取り組み、訓練の重要性を再認識した一日となりました。



自衛消防地区隊(6A産婦人科病棟)の様子



消火器使用訓練の様子

ユニフォーム紹介・白衣変更のお知らせ

何種類か試着し、職員に行ったアンケートの結果、動きやすさやデザインを考慮し、これらのユニフォームを選びました。



『医療者体験』のお知らせ

「病院で働く人にはどんな仕事があるの？」



看護師・助産師・保健師・理学療法士・薬剤師・放射線技師・検査技師・・・病院で働く様々な仕事を体験する企画です。進学や費用、奨学金などの説明もあります。お友達と一緒に、親子、お一人での参加等も大歓迎です。医療体験や相談会を通して楽しく過ごしましょう。多くの方の参加をお待ちしています。

開催日時：2026年8月22日土曜日
9:00～12:00

場所：利根中央病院 2階研修室



◀申し込みは左記QRコードから